

### 1. 策定の趣旨

水道事業を取り巻く環境の変化  
**外部環境の変化**  
 ・人口減少や節水技術の普及による水需要の減少  
 ・水源水質の変化  
 ・自然災害の激甚化  
**内部環境の変化**  
 ・施設の老朽化による更新機会の増加  
 ・技術職員の減少、ベテラン職員の退職による技術力の低下

企業庁の使命である安全な水の安定供給  
 および地域産業の健全な発展に  
 貢献していくため、  
 将来にわたり、健全な経営を確保する

中長期的な視点に基づく経営の基本計画

滋賀県企業庁経営戦略

計画期間：10年間（令和3年度～令和12年度）



### 3. 基本理念・基本目標

基本理念 「信頼の水で、地域の未来に貢献します」

【安全】  
 安全で良質な水を  
 安定して供給します

【強靱】  
 信頼を支える強靱な  
 ライフラインを構築します

基本目標  
 【持続】  
 社会の変化に対応した  
 持続可能な経営を推進します

### 2. 現状評価と課題

#### (1) 目標指標の実績

【水道用水供給事業】

基本目標	指標	優位性	目標値				直近3年間の実績			
			R2	H29	H30	R1	R2	H29	H30	R1
安心	かび臭から見たおいしい水達成率(%)	↑	70	55	80	75				
	総トリハロメタン濃度基準比(%)	↓	30	35	34	36				
	水質苦情件数(件)	↓	0	31	0	1				
安定	浄水施設の耐震化率(%)	↑	15	0	0	0				
	ポンプ所の耐震化率(%)	↑	65	40.7	40.7	40.7				
	管路の耐震化率(%)	↑	40	34.2	35	36.6				
	自家発電設備容量率(%)	↑	70	90.2	90.2	90.2				
持続	料金回収率(%)	↑	102以上	126.3	123	122				
	経常収支比率(%)	↑	108以上	126.1	122.4	121				
	給水収益に対する内部留保資金の割合(%)	↓	80以上	197	207	239				
環境	給水収益に対する企業債残高の割合(%)	↓	320以下	215.5	199.2	183				
	過去5年間のエネルギー使用単位数変化率対前年比(純増)(%)	↓	-0.01	0.19	1.5	0.4				
	浄水発生土の有効利用率(%)	↑	100	100	100	100				
	建設副産物のリサイクル(%)	↑	100	100	100	100				

【工業用水道事業】

基本目標	指標	優位性	目標値				直近3年間の実績			
			R2	H29	H30	R1	R2	H29	H30	R1
安心	水質苦情件数(%)	↓	0	2	0	0				
安定	ポンプ所の耐震化率(%)	↑	45	34	34	34				
	配水池の耐震化率(%)	↑	100	100	100	100				
	管路の耐震化率(%)	↑	16	13	13	13.8				
	自家発電設備容量率(%)	↑	100以上	123.6	109.5	113				
持続	料金回収率(%)	↑	100以上	123.6	124	120				
	経常収支比率(%)	↑	100以上	415	548	589				
	給水収益に対する内部留保資金の割合(%)	↓	300以下	19.6	20.5	19				
環境	過去5年間のエネルギー使用単位数変化率対前年比(純増)(%)	↓	-1	0.19	1.5	0.4				
	浄水発生土の有効利用率(%)	↑	100	100	100	100				
	建設副産物のリサイクル(%)	↑	100	100	100	100				

\*網がけ：令和元年度時点 目標項目を達成できていない指標

#### (2) 主な課題

- (安心)
  - ・水源情報の適切な把握
  - ・活性炭施設の導入
- (安定)
  - ・アセットマネジメント計画の着実な実施
  - ・施設の耐震化・浸水対策
- (持続)
  - ・給水量の減少を見据えた施設規模の検討
  - ・人材育成と技術継承
- (環境)
  - ・エネルギー消費量の削減

### 4. 基本目標の達成に向けた取り組み

#### 1. 安全

- 水道水源への対応  
環境動向の把握と対応、森林保全活動の実施
- 水質管理の強化  
水道GLPを規範とした水質信頼性の確保
- 安全で安定した水の供給  
水安全計画による安全な水の供給、臭気・異臭への対策強化、施設・管路等の適切な運用と維持管理

#### 2. 強靱

- 施設の計画的な更新  
アセットマネジメント計画の着実な実施
- 水道施設の耐震化  
浄水場等の耐震化、管路の耐震化
- 施設の浸水対策
- バックアップ体制  
非常用発電能力の強化
- 危機管理体制の強化  
危機管理マニュアルの充実、事業継続計画(BCP)の充実、原子力発電所事故への備え、災害・事故時対応訓練の充実…

#### 3. 持続

- 健全経営の維持  
適正な料金設定、新規受水企業の開拓
- 経営の効率化の推進  
維持管理コストの削減、施設規模の適正化、新たな技術の導入・活用、民間活力の更なる導入
- 人材育成と技術継承  
技術の継承と人材確保、効果的な人材育成
- 広域連携  
市町との連携・交流の充実
- 環境に配慮した取り組み  
エネルギー消費量の削減の取り組み
- 地域、社会への取り組み

#### 4. 目標指標の設定

(素案にて提示予定)

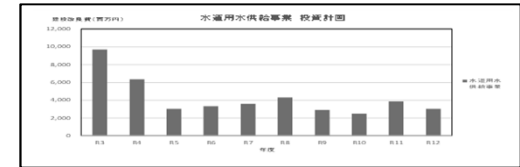
### 5. 投資・財政計画

#### (1) 基本的な考え方

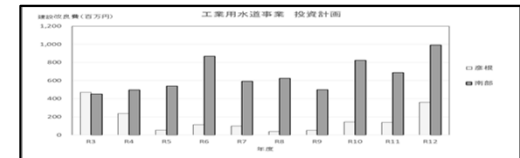
- ・ 自然災害や老朽化に対応するため中長期的視点により更新事業を行い、施設の強靱化を図ります。
- ・ 効率的な経営および適正な料金設定により財政基盤を強化し、経営を安定的に継続します。

#### (2) 投資計画

水道用水供給事業



工業用水道事業

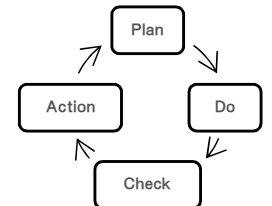


#### (3) 財政計画にかかる目標

- ①年間給水収益程度の内部留保資金を確保
- ②企業債の借入れ  
 水道用水供給事業 150億円  
 工業用水道事業 借入れを抑制

### 6. 計画の推進

・取り組みを確実に推進していくため、外部からの意見も聴取しながら、PDCAサイクルに基づいた定期的な検証・評価を実施。



・計画中期の5年後をめどに総合的な検証・評価を実施。  
 必要に応じて企業庁経営戦略の見直しを実施。